



学校だより



令和5年度 5月号

令和5年 4月28日

さいたま市立大谷口小学校

〈学校教育目標〉 明るい学校、仲良く進んで学ぶ子
～元気な「ってきます」から笑顔の「ただいま」まで～

高学年の素晴らしさ

校長 天野 功一

1学期が始まり、ひと月が過ぎようとしています。新しい先生、友達、教室に次第に慣れてきたようです。1年生も19日からは給食が始まり、午後まで学校で過ごすことになりましたが、元気な声を毎日聞くことができ、嬉しく思っています。

ある日、職員室で仕事をしていると、同じ階にある音楽室から児童の校歌が聞こえてきました。私は、「こういう校歌なんだ」と聞いていました。すると、教頭先生が「3年目で初めて、音楽室から児童の校歌が聞こえてきました」とお話ししてくれました。25日には、体育館に全校児童が集まり「1年生を迎える会」が行われました。体育館に全校児童が集まるのは3年ぶりで、4年生以下は初めての経験となりました。いかに、新型コロナウイルス感染症の教育活動への影響が大きかったかを感じ、そして、今後、再拡大せずに、学校の教育活動が順調に進んで欲しいと強く願いました。

13日(木)に登校班の班長さんと副班長さん約100人が体育館に集まり、安全な登校の仕方について確認する時間がありました。その場で、お話をする機会がありましたが、班長さん、副班長さんの前に出たときにびっくりしました。どの児童も座っている状態でしたが、私の方に顔、体が向き、背筋も伸びていました。あまりの素晴らしさに「すごいですね」という言葉を何度も発してしまいました。

18日(火)に行われた各委員会の委員長さん、4年生以上のクラス委員が集まった代表委員会でも同じような姿をみることができました。登校班の班長さん、副班長さん、そして代表委員会に集まった人はほぼ5・6年生です。学校を引っ張っていく立場である5・6年生がしっかりした態度で参加できていることは、今後の学校行事等で児童の皆さんの活躍する姿が楽しみになりました。

さて、5月1日は「さいたま市民の日」です。さいたま市は2001年(平成13年)5月1日に浦和市、大宮市、与野市がいっしょになり誕生、その後2005年(平成17年)に岩槻市が加わり、全10区となりました。そして、2021年(令和3年)に5月1日が「さいたま市民の日」とする条例が制定されました。学校も休業日とすることとなりましたが、令和3年・4年は土・日曜日と重なったため、今年が初めての平日となり、学校はお休みとなります。改めてさいたま市のことを知るよい機会にして欲しいと思います。

最後となりますが、ゴールデンウィークが始まります。交通事故に気を付けて充実した時間をお過ごしください。